



上手に「切れるかな」

# 広報 ひがし しらかわ

1993  
平成5年

9

No.388

- 発行/東白川村
  - 編集/企画財政課
- 岐阜県加茂郡東白川村神土  
〒509-13 ☎05747(8)3111
- 印刷/下呂印刷株式会社

## 人口の動き

— 8月末住民登録人口から —

世帯数	905世帯
人口	3,442人
転入	0人
転出	1人
出生	6人
死亡	2人

先月と比較して3人増  
昨年の同月と比較して  
8人減

## 夏の思い出におなかいっぱい!

前半は、連日のように雨が続き涼しく、後半、学校が始まるころ、ようやく暑さが戻ってきた天候不順の夏休み。どんな風に過ごしましたか?

8月20日、「母と子のお料理教室」が、中学校調理室・越原センター・五加センターの3会場で開かれ、子どもたちがお母さんと一緒に料理を楽しみました。これは、毎年食改協が行っているもの。

この日の先生はお母さんたち。子どもたちの真剣なまなざしが印象的でした。



みんなそろって「いただきます」

# これがはなのき会館だ！



はなのき会館完成予想図

## はなのき会館の概要

- 構造 / 鉄筋コンクリート
- 屋根 / 日本瓦葺き及びフッ素樹脂鋼板
- 外壁 / 吹き付けタイル
- 床面積 / のべ1,635㎡

### 二十一世紀をめざし 各施設が着々と整備

わたしたちの村の二十一世紀へ向けての設計図ともいえる「総合計画」。

その設計図のもとになっていくのは、立村百年を契機に、住民の皆さんから寄せてもらったアンケートや各種団体などからの要望です。

その中には、「総合会館をつくる」「宿泊研修施設をつくる」「高齢者のいこいの場を」「公園が欲しい」「広いグラウンドを」「歴史民俗資料館があったらいい」「特産品を売る場所が欲しい」……などさまざまな意見が出され、そうした皆さんの願いを取り入れながら、

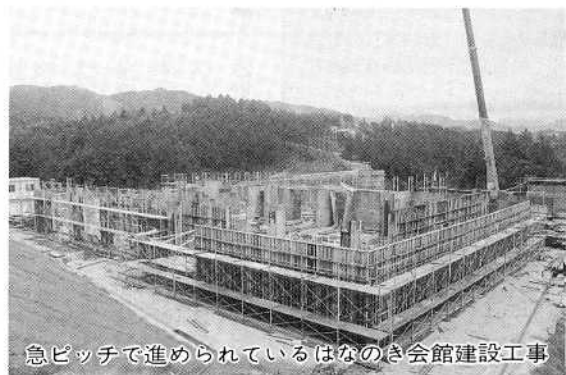
来春三月完成を目指し、六月から着々と工事が進められていくはなのき会館。いったいどんな施設なのでしょう。今月は、将来村の文化の拠点ともなるこの施設の建設に至るまでの背景と、その機能を簡単に見てみたいと思います。

平成二年度に総合計画が見直され、第三セクターふるさと企画の設立、せせらぎ荘、ふるさとセンター、総合運動場、味の館、こもればの館などの施設の建設やこれらの施設を利用した高齢者福祉活動、特産品開発など多方面でさまざまな新しい事業を行ってきました。

そして迎えた今年度は、役場庁舎と文化施設はなのき会館の年になりました。

### 外観は旧舞台のイメージで

これまで文化的行事、例えば、昭和五十二年の復活以来、毎年秋の恒例行事として行われている郷土歌舞伎や昭和四十五年に始まり一昨年で十七回（昭和五十七年より隔年実施）を数える



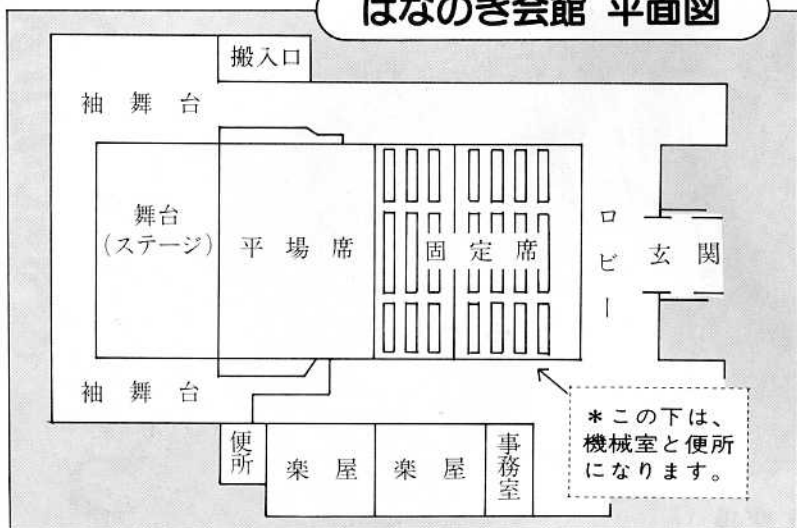
急ピッチで進められているはなのき会館建設工事

文化講演会などは、中学校体育館といった、いわゆる特設会場を使用せざるをえませんでした。このため音響や照明といった設備の点で不十分な面がかなりあり、専門の文化施設を望む声が高まり、村づくりアンケートでも文化施設への要望は多数を占めました。

こうした意見を踏まえ、「総合計画」の中の「こもればの里整備構想」の一環として文化施設はなのき会館の誕生となったのです。

「総合計画」に盛り込まれ、今までに建設された施設は、いずれも「切妻風、瓦屋根」とい

## はなのき会館 平面図



この六月にスタートし、来春三月完成を目指して、現在急ピッチで進められています。完成が待ち遠しいという皆さんのために、その中身について簡単に説明しましょう。

会館内の平面図は、上に示した通りですが、まず観客席は前方から座っても、イスを使っても観覧でき、約三百人まで収容可能な平場席と十段の階段形式となった固定席二六席が備えられており、このホール全体で一度に約五百人まで収容可能になります。

催しの種類によっては、例えば観客が二百人程度といった規模の小さいものも考えられますが、このホールは固定席の前から三列めで間仕切りができ、常設のステージを使う場合は、平場席で、また移動ステージを使えば固定席の使用もできます。

舞台(ステージ)は、一二〇㎡の広さに加え、両側に袖舞台も備えており、さらに演劇などには、付き物の花道も移動式で取り付けることができ、歌舞伎や演劇などを行うのには、十分な設備となるでしょう。



ありし日の神田座  
六席が備

人まで収容可能な平場席と十段の階段形式となった固定席二六席が備

## 期待しています はなのき会館

「新しい広い舞台で一日も早く演じたいですね」と話してくれたのは歌舞伎愛好会の皆さん。九月二十三日の「郷土歌舞伎公演」に向け、現在猛練習中の皆さんは、はなのき会館について「踏みやすい(演じやすい)舞台を一番期待しています。これまでは、中学校体育館でしたから、ステージから前方に四段ほど付け出した特設の舞台を作らねばなりませんでしたが、舞台がいかが直前までできなかった。はなのき会館には大きな期待をしています。」

今年度の歌舞伎公演には、また新しい顔が五人加わり、総勢は三十三人。七月から土、日や平日の夜間を利用してけいこを重ねていますが、中学校体育館では最後とあって思い入れもひとしおのようです。



公演の前に練習に熱が入る

# ふなつお夏まつりざ・五介



は安江登国郎さん



「ちびっこが主演、ゆかたコンテスト」



「うなぎつかんだヨ」

## 若者たちは

### 考えた……

「見に来  
ていただく  
お客さんに  
喜んでいた  
だくことは、  
当然だけど、  
スタッフ側の  
負担になって  
しまつては意味  
がない……。お客  
さんとともに自  
分たちも楽しめ  
る企画を……」  
毎年八月十四  
日の恒例のイベン  
トとなっている  
「ふるさと夏まつ  
り・ザ・五介」。商  
工会青年部、農協  
青年部、林業グルー  
プ、青年団からなる  
東白川青年団体連絡  
協議会が運営し、現  
在の名称となつたのが昭和六十  
二年。これまで「五介道中」「手  
作りの歌謡ショー」「鮎かけ大  
会」「イカダコンテスト」など  
「クリーン作戦イン東白川」を  
一環したテーマとして趣向を凝  
らした催しを行つてきました。  
しかし、ここ数年、いわゆる  
「マンネリ化」さらにはスタッ  
フ側の負担などが大きな問題と  
して叫ばれるようになってしま  
した。たつた一日のイベントと  
はいつても、全てを手作りと考  
えると三、四か月も前から会議  
を重ね、前準備にかかる労力は  
並大抵のものではありません。  
一日それぞれの仕事を終えてか  
らの作業は負担になっていたこ  
とは紛れもない事実です。  
若者たちは考えました。そし  
て迎えた今年のイベント、準備  
内容を合理化し、スタッフも楽  
しめることに視点を置きました。

「ハジメマシテ……」と流ちよ  
うな日本語で、夏まつりの  
「星空セレモニー」の席上、  
あいさつを行ったのは、ア  
ンドリュウ先生の後任で、こ  
の八月よりAET（英語指導  
助手）として来日したばかりの  
クリス先生。  
二期期から小、中学校  
で教壇に立つミスター・  
クリスの横顔を紹介した  
と思います。  
本名は、クリストファ  
ー・サイスキー・アナル  
ーさん。一九六九年（昭  
和四十四年）九月七日、  
ハワイ州カルア市生まれ  
の二十四歳。ハワイ大学  
（哲学・英語専攻）を卒  
業。血液型はA型。  
身長は、一七九センチ、髪  
は栗色で将来の夢は、映  
画監督か脚本家になりた  
いとか。  
ハワイの出身というこ  
ともあって日本人と接する機会  
も多かったようで、日本食も全  
てOKとのこと。また、今を時  
めく横綱曙関とは、生家が近か  
ったこともあり、幼なじみの間  
柄というエピソードの持ち主で  
す。

## 新しいAETはクリス先生

（英語指導助手）

趣味は、テニス、スキュー  
バ・ダイビングというスポー  
ツマン。また、将来、映画監  
督を夢みるだけあって、日本  
映画、特に黒澤作品や伊丹作  
品には、ご執心の様子。こう  
した日本映画からの影響が、  
AETを希望された理  
由の一つにもなってい  
るようです。  
「とにかく一日でも  
早く日本語を覚え、日  
本文化を学びたい」と  
クリス先生。愛称の、  
「クリス」は本人のご  
希望。  
人なつこい雰囲気は、  
学校だけでなく村内で  
もアンドリュウさんと  
同様に人気者になるこ  
とは間違いないでしょ  
う。



教育長から紹介されたクリス先生

# 夏の話題を追って



慢才に司会に大活躍のギフ&テイク



熱演の中学生松茶太鼓

今年の五介

当日は雨……

## でも結果はやってよかった

十四日当日、朝の部のスタッフが午前六時に集合。夜間に降った雨で神土運動場は、あちこちに水たまりがで、空も今にも泣き出しそうな様子。それでもラジオ体操の前には、傘を持参した親子づれなど約百人が詰めかけました。

願いもむなしく体操途中でバケツを逆さにしたような大粒の雨に……。集まった皆さんのために「も」とスタッフは「ずぶ」

ぬれになりながらテントを移動して「うなぎつかみ」を実施。朝のバザーが一段落ついた八時過ぎから代表が集まって緊急会議。「ステージイベントを体育館に、バザーは体育館前でテントを移動して行う」との結論が出され、九時からどしやぶりの中をテント移動開始。夜の部は会場を変え、予定どおり四時から行うこととなりました。スタッフ全員の心配は「人出」です。

開場一時間前、ほとんどのスタッフが各部署で準備万端。体育館のステージでは今年進行役に東京からきた漫才コンビ「ギフ&テイク」のテンポの良い語り「チビッコ」やその家族が少しづつ集まりだしました。

「五介とジャンケン」「チビッコゆかたコンテスト」を終え、中学生のブラスバンドや松茶太鼓のころにはムードは最高潮に。新しい形態で臨んだ今年の夏まつり。お天気には恵まれなかったものの集まった観衆約千五百人が、若者たちに対する答えのすべてではないでしょうか。

白川の夏の風物誌といえは、「鮎かけ」。今年も六月二十七日の解禁以降、連日のように白川では、さお、竿、サオ……の大盛況。

かかったか、かからなかったかは別として村内では、鮎かけを全くやらない人を見つめることが難しいほど愛好家たちがたくさんいることはご存じのとおり。

愛好家がたくさんいるだけに、鮎かけ大会も、愛好会単位などで期間中何回か行われていますが、村内で最も大きな大会といえはなんと「ヒガシシラカワズカップ鮎」でしょう。

これまでは、ふるさと夏まつり当日に行ってきましたが、今回は、八月八日(日)に平中ヶ原を会場に、行われました。

当日は、小雨交じりの天候でしたが、午前七時から十時までの予選には、遠くは名古屋市からという人も含め六十人が参加。日ごろ白川をフランチャイズとしているつわものみなさんがほとんどということもあって大熱戦を展開しました。

## 「名人位」には村雲さん

ヒガシシラカワズカップ鮎 '93

この予選の狭き門を通過した十二人と昨年度の三位までのシード選手を含めた決勝戦は、午前十一時から二時間、場所を移動しながら釣った人一人か所ですつとねばった人など各選手ともその手法に違いこそあれ、さすがに決勝戦、一匹上がることに沿道に集まった観客から拍手が起ころなど白熱した大接戦となりました。

順位は以下のとおり、(敬称略)①村雲知巳(西洞)②野村孝(柏本)③田口喜一(陰地)。

なお、表彰式はふるさと夏まつりの「星空セレモニー」で改めて行われました。



上位三人の方には来年のシード権が

# 決算

## 平成四年度財政事情の公表

平成四年度の決算認定が九月定例議会に提出され、審議、承認を受けます。わたしたちの村の家計簿は、どのようになっていのでしょうか。わたしたちの納めた税金はどのように使われているのでしょうか。皆さんに財政状況をご理解いただき、なお一層村政に関心を深めてもらいたいと思います。

### 一般会計

歳入(収入)が二十九億九千五百七十二万円余、歳出(支出)が二十八億八千九百六十一万円余、差し引き一億六千六十一万円余の黒字となり翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入は、地方交付税が十三億一千二百四万円余で全体の四三

・八割を占めています。これは、所得税、法人税、酒税などを財源に国が一定の基準で交付するものです。

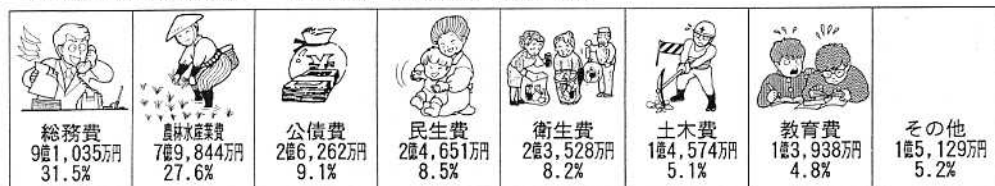
この地方交付税を含めた依存財源は、全体の八一・八割を占めるのに対し、皆さんから納めていただいた村税など自主財源は、全体の一八・二割にあたる五億四千八百九十九万円余となり、財政事情は相変わらず苦しいといわざるをえません。

歳出は、総務費が九億一千三十五万円余で全体の三一・五割を占めています。これには、庁舎建設基金、財政調整基金・土地開発基金といった基金積立やこ

■村に入ってきたお金 歳入総額 29億9,572万円



■このように使いました 歳出総額 28億8,961万円



平成4年度完成のこもれびの館

### 道路標識にお気づきの点ありませんか?

十月一日から七日までは「全国道路標識週間」です。県では、この期間、道路標識を一層利用しやすいものにするため、一斉に道路標識の点検や見直しを行います。ふだん車を運転していてお気づきの点やアイデアがありましたら次のところまでがきか封書であなたの意見をお寄せください。

- 一四六〇名古屋市中区三の九二
- 一五一〇中部地建標識BOX係
- 一五〇〇岐阜市藪田南二一
- 一岐阜県警察本部標識BOX係
- 岐阜県庁標識BOX係まで

### 九月は

#### 「障害者雇用推進月間」

九月は「障害者雇用推進月間」です。障害のある方々が、自然な形で社会に参加できるやさしい街

づくりをみんなで推進しましょう。

### 進んで受けよう

#### ガン検診

九月は「ガン征圧月間」です。ガンによる死亡者が年々増加の一途をたどり、私たちの健康と幸福に対する重大な脅威となっています。

村では今年も検診車による胃がん検診と、乳がん検診を次の日程で行います。年に一度の健康チェック、がん検診を受け早期発見に努めましょう。

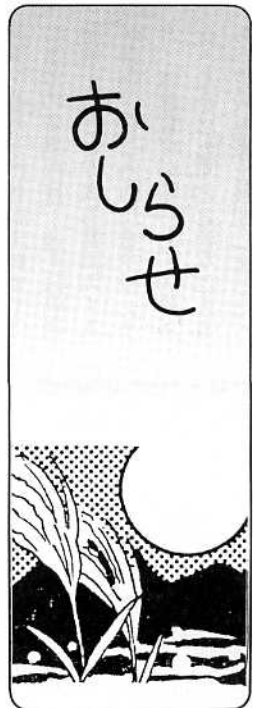
#### 【胃がん検診】

- とき/十月七日(病院前)
- 対象者/四十歳以上男、女

#### 【乳がん検診】

- とき/十月十四日、二十
- 対象者/三十歳以上の女性

※申し込みは、いずれも十月一日から、役場保健係(有線二



# 特別会計

一般会計とは別に特定の事業など別の経理を持って行うものを特別会計といいます。

四年度の特別会計は、歳入総額が十三億七千万円余、歳出総額が十二億七千九十四万四千余で三千七百七十五万四千余の黒字となりました。わたしたちの村では、下の表のとおり六つの特別会計を設けています。

この中の簡易水道特別会計は、平成四年度、大明神川を水源地とする簡易水道事業の開始によって新たに

設けられたものです。この会計の財源のほとんどは、国や県からの補助金と村債でまかなわれています。

前年度に比べ、歳入歳出面で減少となった国民健康保険特別会計は、歳入面で、保険料や療養給付費交付金が減少したため、一四・三割の減に、歳出面では、総務費の減少に加え、基金積立金をしなかつたため、一二・三割の減になりました。

特別会計一覧表 (単位：千円)

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	240,355	210,317
老人保健特別会計	272,717	258,937
有線放送電話特別会計	27,167	22,530
分収造林費特別会計	2,437	2,433
簡易水道特別会計	353,500	348,819
病院事業会計	損益勘定	399,696
	資本勘定	413,990
合計	5,830	13,918
合計	1,301,702	1,270,944

もればの里整備事業などが大きなウェイトを占め、前年度に比べ三三・二割の高い伸びとなりました。次いで農林水産業費が七億九千八百四十四万四千余で、二七・六割を占めており、瀬音公園整備、つちのこ館建設、農林道整備などが主なものです。

村の借入金金の償還金である公債費は、二億六千二百六十二万四千余で全体の九・一割を占め、前年度より六・二割の伸びとなったほか歳出全体で前年度に比べ、九・四割の伸びとなりました。

## 村税一口メモ

(単位：円)

皆さんから納めていただいている村税は、一億九千八百五十五万円で、これは歳入全体の六・六割にあたります。

税目別では、固定資産税が、一億二百六十二万四千余と村税全体の五一・七割。次いで村民税が四一・七割を占めています。

税項目	1世帯あたり	1人あたり
村民税	91,960	24,177
固定資産税	113,899	29,946
村たばこ税	9,689	2,547
軽自動車税	4,662	1,226
土地保有税	152	40
合計	220,362	57,936

※税負担額は、平成5年3月31日末人口で単純に割ったものです。従って法人関係分も含まれています。

## 図書コーナー

### 大みそかのウェディングドレス



紺野 美沙子 著

この人に会う運命だったとか、そんな夢のような話は信じられなかったけれどあせらなくても、自分にあった相手がみつかるんだなあと、運命という言葉を通じてみたい気になりました。

推薦人 (23歳 女)

### 瑠璃を見た人

推理小説のような印象を受けました。もしかしたら自分の人生も何かほんの少しの偶然で大きく変わるのではないかと、すっかり主人公になりきって、わくわく期待しながら読みました。

推薦者 (25歳 女)



伊集院 静 著

一五六)へご連絡下さい。なお、検診料はどちらも千円です。

### 岐阜県最低賃金が改正されます

岐阜県労働基準局では、県内で働くすべての労働者に適用される「岐阜県最低賃金」を十月一日から改正します。

改正後の最低賃金は、日額四、七〇三円(改正前四、五五九円)時間額五八八円(改正前五七〇円)です。

この最低賃金は、臨時・パートタイマー・アルバイトなどといった雇用形態に関係なくすべての労働者に適用されます。

最低賃金の対象となるのは、通常の所定内賃金に限られ、ボーナス等臨時の賃金、休日、時間外などの割増賃金及び通勤手当(交通費)、家族手当、精皆勤手当は対象となりません。

なお、著しく労働能力の低い方などで、岐阜労働基準局長の許可を受けた方については、適用除外することが認められています。

詳しいお問い合わせは、岐阜労働基準局賃金課(岐阜市金竜町五十一三・☎〇五八二(四五)八一〇一内線三〇)もしくは、最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

## 活動

### 成果は大きな自信 ジュニアリーダー思い出の夏



おねえさんたちは人気の的

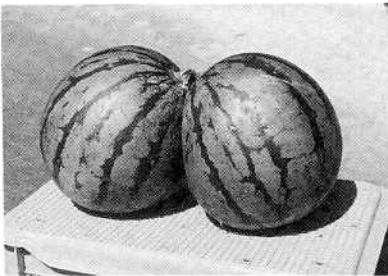
東白川出身で白川高校へ通う生徒たちで組織されているジュニアリーダーズクラブ（J.L.C.）

現在会員は五十七名ですが、この中の九人の生徒が、年間活動の一環として、八月十一日神戸保育園、十三日にせせらぎ荘でそれぞれ職場体験をしました。

この中には「将来、看護婦さんに、保育さんに」と夢を抱いている生徒もいるとか。体験した二日間はずっと夏休み一番の思い出となったことでしょう。

## 珍品

### 冷夏が原因!! スイカのトウインズ（双子）



どこから見てもソックリ

「夏らしい日が全くなかったねえ」とこれは最近交わされるあいさつの定番。

ところで、この異常気象で野菜が全国的に大打撃を受けたようですが、この天候が原因したか、西洞の村雲利彦さん宅では見事な、双子のスイカが採れました。大きさといい、色といいほとんど同じのこのスイカ。きつと一卵性双生児でしょう……。

## 美味

### 主婦ならではのアイデア が大きく評価



美しい盛り付けがポイント

「軽い気持ちで応募したんですよ」と話してくれたのは、上親田の安江初子さん。八月八日行われた「鮎料理コンクール」（主催/馬瀬村）で安江さんの作品「かぐや寿司」が見事優秀賞を受賞しました。全国から一八九点の応募があり、その内の上位三点に選ばれたこの作品は、今後馬瀬村で特産料理にされるようです。

## 大会

### 台風一過の大会は、 五加チームが大活躍



大空目がけてフルスイング

「戦後最大規模の台風」といわれた十三号台風。幸い村には大きな被害も無く、翌五日は、台風一過の晴天。恒例の村民ソフボール大会が総合運動場など二会場で二三チーム、約二五〇人が参加し開かれました。

今大会は、一般の部で「平東の四連覇なるか」に注目が集まりましたが、台風の目となった五加チームが大健闘、決勝戦で平東チームを八対〇で下し、見事優勝を成し遂げました。

☆大会優勝チーム【一般】五加【壮年】東【婦人】五加

## 戸籍の窓 敬称略（八月）

誕生おめでとーございます

（大沢）今井 信好 あづさ

（陰地）安江 智樹 きよ

（下親田）安江 正悟 あづさ

（平）田口 正昭 あづさ

（黒淵）安江 敏 あづさ

（大沢）小池 毅 あづさ

（大沢）小池 毅 あづさ

（大沢）小池 毅 あづさ

おくりやみ申し上げます

田口きくの 94歳（陰地）

安江 文一 87歳（陰地）

■善意の寄付 敬称略

【庁舎建設指定寄付金】

現金五百万円 木村建設㈱

【社会福祉施設整備指定寄付金】

現金五万円 安江正晃（大明神）

【社会福祉協議会へ】

現金五万円 安江豊子（小牧市）

現金三十万円 古田茂樹（久須見）

現金一万六千五百円 東白川

ゴルフクラブ盆会コンペ事務局

（代表今井克次）



## 交流

### ふるさとづくりを体感 両村人会里帰り交流会

「一年ぶりのご対面！」。  
八月十三日、東京東白川クラブと東白川中京村人会の「里帰り交流会」が、こもれびの館を会場に行われました。

お盆の里帰りを機会に東白川クラブのみなさんと村の役職者のみなさんが懇親を行っていたこの会に昨年度からは、中京村人会のみなさんも加わり、より一層意味のある会となりました。今年の参加者は、両村人会と



東京東白川クラブ・中京村人会里帰り交流会  
平成5年8月13日 こもれびの館  
こもれびの館で記念撮影

も役員を中心にして東白川クラブが安江富士夫会長（陰地出身）ほか七名、中京村人会が、今井利也会長（宮代出身）ほか九名、東白川クラブのみなさんは遠方からにもかかわらず、ほとんどの方が車で帰郷。中には当日早朝に出てきたという人もあったようですが、やはりふるさと

の空気は、一服の清涼剤です。午後一時からの顔合わせの後、すぐに村内めぐりと忙しいスケジュールとなったにも関わらず、疲れた様子もなく、村内めぐりの行く先々で村の変貌ぶりに高い関心が集まりました。特に今回のコースでは、大明神方面の水源地や浄水場、郷土の森などが評判だったようです。

一行は、村内めぐりを終えた後、こもれびの館へ戻り、村役職者ら二十四人を交え、懇親会へ。なつかしい言葉や話をさかんに飲むお酒は味もまた格別だったのではないのでしょうか。

## 転居

### こもれびの里に 慰霊塔完成

役場庁舎建設に伴い、こもれびの里への移転工事が進められ



立派な慰霊塔になりました

ていた、慰霊塔がこのほど完成しました。

新しく移された慰霊塔の位置は、現在建設中のはなのき会館のすぐ近く。

神田神社幣使殿にいったん移されていた慰霊塔の霊壘を移す遷座祭は八月五日夜行われ、また、八月十五日の終戦記念日には、正午の黙禱の後、戦没者追悼式が行われました。

## 活躍

### 自分の考えを県大会で 堂々と披露

「お年寄りは、私の村の財産です」。これは八月三日、各務原市で行われた「少年の主張岐阜県大会」（主催 岐阜県・社

岐阜県青少年育成会議）で発表を行った東白川中学三年生樋口岸子さん（西洞）の主張です。去る六月五日「東白川村青少年主張大会」において中学生の部の村代表となった樋口さんの主張は可茂地区でも高い評価を受け、地区の代表となったもの。各地区から選ばれた十四人の最初に発表した樋口さんは、奨励賞を受賞しました。



熱弁をふるう樋口さん

現金八万円―山田土建(株)従業員一同  
現金二十万円―安江浩(陰地)  
現金十万円―田口英雄(陰地)  
〔五加保育園へ〕

絵本三冊―安江建材

〔越原地域集会所へ〕

冠婚葬祭用等食器類一式ほか

●日向二・三班 ●どびん五個

・ざる五個―陰地一班

■工事入札の結果

①は入札期日②は落札金額  
および落札業者

▼土工第三号誘遊街道路  
新設工事

①七月三十日②五千二百一  
万五千円、山田土建(株)

▼平成五年度東白川簡易水道  
電気計装工事

①八月九日②七千九百三十  
一万円、名三工業(株)

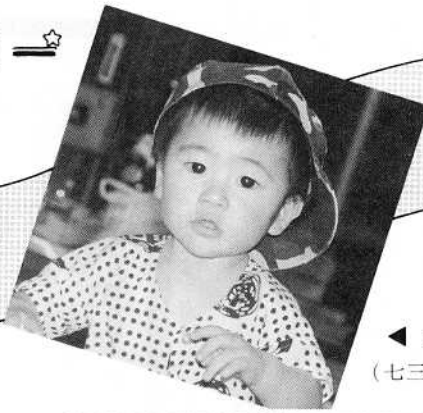
▼平成五年度東白川簡易水道、  
施設五一号工事

①八月九日②一億三千五百  
九十六万円、安田・山田・マ  
ルト・新田建設工事共同企業  
体

▼平成五年度東白川簡易水道  
施設五十二号工事

①八月九日②一億五千四百  
五十万円、松村・丸登・立保  
建設工事共同企業体

このコーナーの子どもたちみな同い年。  
10年後、20年後「広報」をみればホラ！  
1歳のあの子の顔が……



大坪 剛くん  
(七三男さん・穂奈美さん長男一陰地)

満1歳

# ふれあい広場

## 新婚さん♡

■ワン・シヨット■

これは事実のようです。左の表をご覧ください、全国的な視野で見ると未婚率は、除々に年齢層が上がっているのがわかります。つまり、女性の結婚の適齢期が、一般的に上がっているわけですね。

平成二年度の国勢調査によれば、全国で二〇歳から三十九歳までの男性の数は、わずかながら女性を上回っています。

最近、結婚する人が少ないのはこうした女性の意識の変化も原因の一つではないでしょうか。

残念なことには今月は、この欄で紹介する新婚さんの対象者がありませんでした。そこで、少し違った角度から、

「結婚」について考えてみたいと思います。

「結婚」といえば、男性と女性の縁のようですが、最近では、「キャリアアウーマン」ということばが象徴しているように、女性の「結婚」に対する意識が変わったということをよく耳にします。確かに、女性の職場進出は著しいものがあり、勤続年数は年々伸び、就業分野も拡大し、ライフスタイルが変化している

### ●女子未婚率の推移●

(単位：%)

	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成元年
20～24歳	68.1	69.2	81.4	85.7
25～29歳	19.0	20.9	30.6	37.3
30～34歳	9.0	7.7	10.4	12.0

(資料)厚生省

## ふれあい再発見 ① 雨

今回から連載する「ふるさと再発見」は知っているようで知らない村の姿を紹介しながら、ふるさと東白川の良さを再確認しようとするものです。情報の提供をお待ちしています。

さて第一回は「雨」にしたいと思えます。なぜ雨か？と問われても困りますが理由がないわけではありません。

今年はどうやら雨年らしい：という単純な理由ですが、そこで思い出されるのが今から二十五年前の八・一七災害。台風くずれの停滞前線が村の上にとどしりと腰を落として動かず、一日かけて降った雨量が三百七ミリ、一時間の最大雨量六十ミリという集中豪雨でした。

こんな数字を並べてもピンとこない人は、東白川村の総面積八千七百一十一万平方メートルの上で一日で三十一センチを超す水がいったいになったと考えるみて下さい。

もちろん、いっぱいになまっ

てしまっただけではありません、降った水は流れて行きます、そこに恐しい「土石流」が発生しました。

村内の沢や谷はもとより道も農地も、低い所はすべて土と石の交じった泥水の通り道になってしまいました。

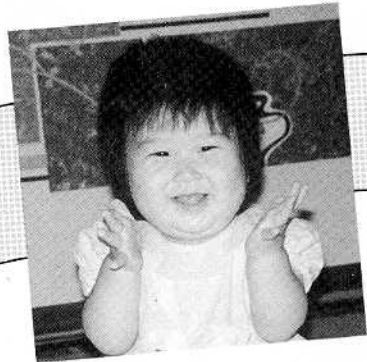
死者一名、家屋全半壊五戸、決壊箇所四百三十五か所という大災害の教訓から、土石流の原因となる沢の決壊を止めるための「沢止め堰堤」が村内各所に作られました。砂防堰堤あるいは治山堰堤と呼ばれる沢止めは現在村内に百四十か所もあり、

ダムの長さ八十八メートルという柄谷砂防堰堤は村内最大級のもので、これらの堰堤はすべて山の中にあつてふだんにふれる事が少ないけれど、豪雨からガッチリと村を守っています。宮沢賢治は言いました、雨ニモマケズ……。





「変わりゆくふる里に思う」  
海部郡大治町（中京村人会）  
今井美千雄（大口出身）  
今年は梅雨明けもはつきりせず、爽快な夏も経ることもなく、もう朝夕の風は秋を感じさせる今日このごろです。  
私たちの東白川中京村人も昨年四月の設問、会報第一号の発行をはじめ、「広報ひがししらかわ」の配布、里帰りツアーの企画



▲ 安江 未紗紀ちゃん  
(義文さん・由美子さん長女—下親田)



「じゃがいもを植えたらトマトがなった？」  
これは、平の安江芳晴さん宅でとれたもの。葉は確かにじゃがいもですが、かわいいトマトが実をつけています。同じナス科の植物でパイオ野菜ポマトもありますが、非常に珍しいケースのようです。



（下呂）、年次総会の開催（犬山）、三者交流会（東白川村、東京クラブ、中京村人会）への参加など、いろいろと活動を進めてきました。里帰りツアーや三者交流会では、ふるさとセンター、こもれびの里、せせらぎ荘、味の館、さらには新集「郷土の森」、簡易水道事業の取水場や浄水場などといった各種施設を見学させてもらい、村の現状を知るうえで大きなプラスとなりました。とくに小生にとっては大明神、黒淵、栃山などは話では聞いていましたが、実際に自分の足を踏み入れたのは生まれて初めてのことで大変感慨深いものでした。そこで多くの人々が気軽に溶け込める場を作り上げるために、皆さんのご指導、ご援助の下に、少しでもお手伝いできたならと思っております。そのような場ができれば、きっと今まで知らなかったことも理解でき、話し合いも活発となり、ふる里への関心がよりいっそう深まるものと考えます。これからも各種の開発に伴って村の様相が変わってくるでしょうが、どうか「山紫水明」だけは守り続けて欲しいものです。これが「ふる里」であり、われわれの心に潤いと希望を与えてくれるものだからです。

## お話を を きかせて ください

### 独居老人訪ねある記

「一人暮らしになって十年たったけど、本当にあつという間でしたよ」。今月お尋ねしたのは、大正三年生まれでこの四月七十九歳になられた加舎尾の安江かつさんです。  
目と耳が、少々不自由なことを除けば、いたって健康とおっしゃるかつさん。特に足、腰は丈夫でいつも、歩くことは健康のために心掛けているとか。  
「月に一度は、必ず病院へ歩いて診てもらいに行きます。別にどこが特別悪いわけではないけれども、帰りに知り合いの家に寄りたりすることが楽しみでねエ。早い時には病院まで片道三十分くらいで行きますよ」。

かつさんの一番の楽しみは、年に一度の兄弟会だそうです。「五人いた兄弟が三人になってしまった私が一番上になってしまったけど、やっぱりいくつになっても兄弟はいいです。この日は、子どもたちが家まで迎えに来てくれて、下呂温泉に泊まりに行ったりして、本当に一番の楽しみですね」と嬉しそうに話される。そんなかつさんに最近楽しみの一つとして加わったものがあります。せせらぎ荘の利用です。利用のある日は、迎いの車が来るまで家の外に出て待っているとのこと。  
「いっつも外へ遊びに出ればっかりと思われるといかに、外に出るときは、家ぐるの草を刈ったり野菜も作っています。週一度ヘルパーさんが来てくれて、何かやりましようか」といってくれるけど、私の仕事がないようになってまうで」といっとるようなことですよ」と元氣いっばいに話してくれました。



安江かつさん（加舎尾）

# わたしの作品



▲「ゆかた」  
東白川中学校3年生  
樋口みさ子さん(中谷)

▼「机といす」  
東白川中学校2年生  
今井通裕(下野)



▲「交通安全ポスター」  
東白川小学校5年生  
田口由里さん(平)



▲「プールあそび」  
越原保育園  
やすえまさひろくん(黒淵)



▲「ロボット」  
東白川小学校1年生  
今井泰輔さん(下野)



▲「プールあそび」  
越原保育園  
かつらがわゆいちゃん(栃山)

## 広報文芸

### 俳句

- 秋暑し人間三平癌に死す(落語家林三平の命日に)  
しづしづと遷る英霊へ真夜の雷  
何んとなく踊る仕草や浴衣着て  
揚花火音のずしりと後れくる  
山吹の影にひっそり水子地藏  
干葉草家中甘き香り満つ  
信濃路や車窓の青嶺入れ替る  
露けしや古代の土器を掌にのせる  
わが肩を計るか尺取屈伸す  
うつむきて咲く笹百合の花便り  
草の実を散る分別をささること  
螢の夜を散歩したき人すでに亡し  
筍のごはんの味は亡母ゆづり  
晩夏光子に躓き旧友村を去る
- おこわり■  
隔月でお楽しみいただいている広報文芸の「狂俳」は都合により  
今月はお休みさせていただきます。  
美濃、尾張が本場とされ、村でも古くから親しまれてきた狂俳の  
愛好者は年々減ってきている現状です。愛好会では、郷土文芸狂俳  
の灯を消さないためにも初心者、特に若い人の投稿をお待ちしてい  
ます。
- 安江 一滴水(日向)  
安江 市助(栃山)  
新田 義男(加倉尾)  
桂川 喜郎(栃山)  
安江 武子(平)  
今井 統子(平)  
今井 桂子(平)  
河田 あや子(西洞)  
菊田 清美(曲坂)  
村雲みか子(中通)  
田口 秋映(日向)  
安江 奎一(宮代)  
安江 すみよ(平)  
河田 重喜(西洞)

あなたも俳句・狂俳に挑戦してみませんか。あなたの作品をお待ち  
しています。投稿は奇数月の二十日までに、俳句は西洞河田重喜宛・  
狂俳は陸地安江永吉宛までお寄せ下さい。なお、次回の狂俳の題は  
前回と同じく「あつい」「少しづつ」「味けない」です。



今年の鮎  
釣りは天候  
不順による  
低温温か、  
汚染による

水質の影響か、とにかく不漁であつた。▼稚鮎の放流後に琵琶湖産が大量死したとか、放流量が少ないとか色々噂話を耳にしたが、相手は自然に生きる生物の事。はつきりとした原因は分からない。▼ある日の事であるが、Kちゃんが「ちよつと見とれ」と小石を手に持って、大石の石垢(いしご)をこすり始めた。まず、その石を覆っている垢が取れ、普通だと石の地肌が見えるはずが、その下にもう一層石垢が着いている。しかも鮎が食う石垢ではなくへドロの様なものが出てくる。▼人間は勝手なものから、自然の恩恵を受けようとする。川を汚しておきながら鮎が掛からないとばやくのだ。▼ともあれ不漁のシーズンであつた。解禁日に真っ黄色の鮎が釣れなかつたのである。皆さんはこの事実をどう考えますか。